

大学生の新聞に対する信頼度と必要性 —新聞を活用した授業を通して—

皆川 晶*

**The reliability and necessity to the newspaper by college students
— Through teaching made use of newspapers —**

by

Aki MINAGAWA*

要 旨

情報社会の中で、情報摂取方法は多様化している。学生にとっては、インターネットが身近であり、自分の欲しい情報が一瞬のうちに入ってくるので、利用者が多い。手軽さや速さを求めている学生にとっては、新聞を手に取り、読むという行為が煩わしいようである。情報が簡単に手に入る中で、学生たちはどのようなメディアを利用し、また、それらにどのような印象をもち、評価をしているのか。さらに、新聞にはどのようなイメージをもっているのかをアンケート調査し、その結果から、学生が新聞に対してどの程度の信頼度と必要性を感じているのかを考察する。

Key Words: 情報教育、新聞、新聞活用教育

1. はじめに

現在、情報を簡単に入手できる社会の中で、学生たちの情報摂取方法は多様化している。手軽さから、若者にとっては新聞よりもテレビやインターネットの方が身近である。総務省の調査でも10代後半のインターネット利用率は97.9%¹⁾である。

さらに、若者の活字離れを象徴するかのよう
に、新聞を「毎日読んでいる」のは、わずかに
16.3%²⁾、「読んでいない」は42.9%²⁾である。
テレビを「毎日見ている」は76.7%²⁾、イン
ターネットを「毎日利用している」は67.5%

²⁾ である。この調査からも若者は新聞よりも、
テレビやインターネットから情報を摂取してい
ることがわかる。

この調査から考えれば、若者は新聞よりもテ
レビやインターネットを信頼しているので、利
用しているということなのであろうか。それと
も、何かほかに理由があるのであろうか。この
ように新聞から、「インターネット世代に移っ
ていくにつれて、インターネット利用の拡大は
避けられない。ならば、新聞、テレビなど既存
のメディアは、同時に信頼度で読者、視聴者を
ひきつけなければならない」³⁾。若者はどのよ
うな視点でそれぞれのメディアに信頼を寄せて
いるのだろうか。

本稿では、若者にとっては接触の少ない新聞

*崇城大学非常勤講師

について、大学生はどのようなイメージをもち、他のメディアと比べて信頼しているのか。さらには、新聞に必要性を感じているのかを見ていきたい。それにあたって、大学生に新聞を中心としたメディアに関する調査を行い、そのアンケート結果を踏まえて考察していく。

2、調査にあたって

(1) 調査目的および調査日

大学生は新聞を読んでいるのか。新聞に対してどのようなイメージをもっているのか。他のメディアと比べて新聞をどのように捉えているのか。情報摂取の方法など、学生の現状を知るためにアンケート調査を行った。調査実施日は、2015年1月下旬である。

(2) 調査協力者

調査協力者は熊本県S大学1年男子学生84名、女子学生29名、福岡県K短期大学1年男子学生6名、女子学生20名の計139名である。

(3) 調査内容

[調査項目]

- ①あなたは情報を主にどこから得ていますか。
- ②なぜ①で答えたものから情報を得るのですか。理由を教えてください。
- ③新聞を読みますか。その理由も教えてください。
- ④新聞について、どのようなイメージをもっていますか。
- ⑤それぞれのメディアの印象や評価について、該当するところに○をつけてください。(この質問内容は、「全国メディア接触・評価調査報告書」⁴⁾の項目を引用した)
- ⑥授業で新聞記事を使っていますが、どのように感じますか。
- ⑦今回、作文を書くために自分で新聞記事を探しましたが、どうでしたか。
- ⑧どのようなテーマの記事を選びましたか。
- ⑨授業で新聞記事を使うことは、役に立つと思いますか。
- ⑩⑨で「役立つ」と答えた理由を教えてください。

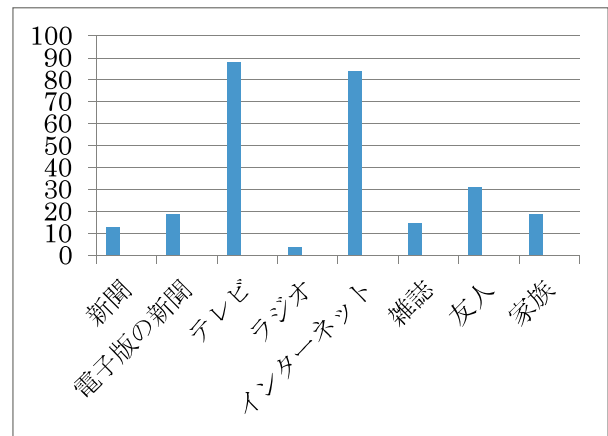
い。

- ⑪⑨で「役立つ」と答えた理由を教えてください。
- ⑫授業をきっかけに、これから新聞を読みたいと思いますか。
- ⑬新聞を読むことは今後必要だと思いますか。理由も書いてください。

3、調査結果

調査の結果は、回答の多い順に記載する。質問によっては複数回答もある。理由を問うところは、無回答もある。

- ①あなたは情報を主にどこから得ていますか。(複数回答可)



- ②なぜ①で答えたものから情報を得るのですか。理由を教えてください。
- ②-1 《 新聞 》 (13名)

理由	人数
身近なものだから	3
簡単だから	2
情報源をできるだけ多く用いて、正確性を求めたいから	1
新聞は読むから	1
新聞しかないから	1
見やすいから	1

* 理由は自由記述なので、回答欄に書かれたそのままの表現を用いた。以下も同様。

②-2 《 電子版の新聞 》(19名)

理由	人数
身近にあるから	6
手軽に見ることができるから	4
情報源をできるだけ多く用いて、正確性を求めたいから	1
それしかないから	1
時間に関係なく情報を得られるから	1
ケータイを見るから	1

②-3 《 テレビ 》(88名)

理由	人数
手軽だから	11
身近なものだから	11
よく見るから	8
簡単に情報を得ることができるから	7
見てるから	6
便利だから	5
テレビしかないから	4
ニュースを見る	4
いつもついているから	3
楽だから	3
毎日見るから	2
わかりやすいから	2
何かをしながら見ることができるから	2
一番接することが多い媒体だから	2
情報番組を見ているから	1
情報源をできるだけ多く用いて、正確性を求めたいから	1
朝起きたらテレビを見るのが日課だから	1
日常生活から入ってくる	1
放送局によって様々な捉え方をして いるから	1
日本や世界で何があるかを知るため	1
なんとなく	1

②-4 《 ラジオ 》(4名)

理由	人数
便利だから	1
楽だから	1
身近にあるから	1
簡単だから	1

②-5 《 インターネット 》(84名)

理由	人数
スマホ・携帯を使っているから	13
便利だから	9
手軽	9
よくインターネットを利用するから	8
身近だから	7
楽だから	4
早くて必要な情報を得られるから	4
なんとなく	3
簡単だから	3
情報を得るのに適しているから	2
テレビがないから	2
新聞をとっていないから	2
テレビは信用ならないため	2
一番接することが多い媒体だから	2
読みやすい	2
知りたい情報を選べるから	2
他に情報を得るものがないから	2
日常的に使用するものだから	1
インターネットは意見が多くの人から 得られるため	1
日常生活から入ってくる	1
様々なところにリンクできるから	1
情報源をできるだけ多く用いて、正確性を 求めたいから	1
民意もわかりやすい	1
空き時間にできるから	1
インターネットを使っているとトップ にあるから	1
友人とも話さないから	1

②-6 《 雑誌 》(15名)

理由	人数
身近にあるから	3
簡単だから	3
よく見るから	2
便利だから	2
流行を知るため	1

②-7 《 友人 》(31名)

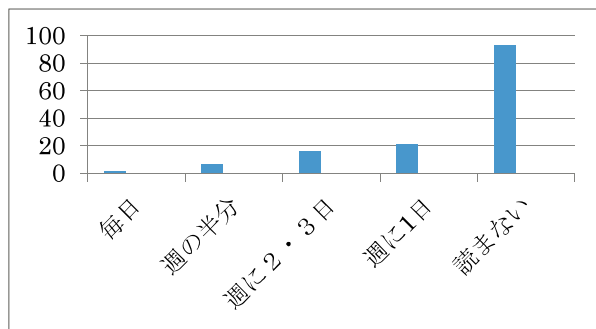
理由	人数
よく話すから	5
楽だから	3
日常生活から入ってくる	2

新聞やテレビ、ラジオ、インターネットなどがないから	2
バイトや学校などで見るひまがないから	1
質問もできるから	1
最近のニュースの話をしたりするから	1
自発的にニュースを調べることがないから	1

②-8 《 家族 》 (19名)

理由	人数
会話の中ででてくる	2
最近のニュースの話をしたりするから	1
自発的にニュースを調べることがないから	1

③新聞を読みますか。その理由を教えてください。



③-1 《 毎日読む 》 (2名)

理由	人数
テレビ欄で何のテレビがあるかを確認するから	1

③-2 《 週の半分は読んでいる 》 (7名)

理由	人数
気になった面だけ見るようにしているから	1
テレビ欄を見るため	1
テレビで得た情報をさらにくわしく知りたいから	1
授業の時に読んでいるから	1

③-3 《 週に2・3日読む 》 (16名)

理由	人数
図書館にある新聞をたまに利用するから	1
気になったところは読んでみたいと思うから	1
わかりやすい	1
ひまなときに読んでいる	1
番組欄をよく見るから	1
新聞を読む時間が少ない	1
時間がない	1
朝は忙しいから	1
机の上に置いてあるから	1
なんとなく	1

③-4 《 週に1日程度読んでいる 》

(21名)

理由	人数
気が向いたら	4
たまに気になる記事があるとき読んでいる	3
読む時間・暇がない	2
ひまなときに読む	1
字が小さくて読みづらいから	1
社会の現状が気になるから	1
見出しが魅力的だったら見る	1
図書館でときどき読んでいる	1
親がきっかけで読むことがある	1
新聞をとっていないが、祖父母のところで読ませてもらっている	1
新聞を買うか、読みに行かないといけないから	1

③-5 《 まったく読んでいない 》 (93名)

理由	人数
新聞をとっていないから	31
時間がない	3
新聞をとるには費用がかかるから	2
お金がない	2
読む機会がないから	2
テレビでニュースを見れば良いと思っっているから	2
気になったものは読む	1
テレビ欄だけでいいから	1
新聞は信用できない	1

新聞には本当に大事なことは書いていない	1
大量の文字を読むのに手間がかかる	1
字が小さいから	1
新聞は漢字だらけだから	1
他のメディアから情報を得ているから	1
読みたくない	1
興味がない	1

④新聞について、どのようなイメージをもっていますか。(複数回答可)

イメージ	人数
客観的な意見が書かれている	44
社会の人が知りたい情報が書かれている	33
いろいろな意見が公平に書かれている	30
書いてあることは正確だ	26
いろいろな意見が公平に書かれていない	23
報道される人のプライバシーや人権に配慮していない	18
信用できる	16
事実が誇張して書かれている	14
事実が掘り下げて書かれている	11
報道される人のプライバシーや人権に配慮している	11
信用できない	9
事実と違うことが書かれている	8
興味本位ではなく品位を持って書かれている	6
興味本位に書かれている	5
社会の人が知りたい情報が書かれていない	4
同じ記事ばかり載せている	1
読むと気分が暗くなる	1
つまらない	1
事実も書かれているし、事実でないことも書かれている	1
新聞を売るために大きめに書くことがある	1
考えたことがない	1
読んでないのでわからない	1
読みづらい	1

⑤それぞれのメディアの印象や評価について、該当するところに○をつけてください。(複数回答可)

	新聞	テレビ(NHK)	テレビ(民放)	ラジオ	検索サイト	新聞社のニュースサイト	ブログやコミュニケーションサイト、SNS	雑誌
社会に対する影響力がある	87	85	98	28	50	42	59	31
知的である	91	75	24	16	9	35	6	10
安心できる	58	80	36	22	11	20	7	8
自分の視野を広げてくれる	65	54	54	30	53	31	49	43
情報源として欠かせない	45	51	71	14	62	28	44	16
日常生活に役立つ	40	53	76	19	63	27	39	30
教養を高めるのに役立つ	75	74	45	17	26	30	10	17
話のネタになる	30	42	85	21	55	23	78	60
社会の一員としてこのメディアに触れていることは大切だ	95	73	60	20	23	34	21	16
情報が正確である	70	74	34	15	10	22	7	2
情報の信頼性が高い	73	84	32	9	9	25	5	4
地域に密着している	72	44	57	39	12	11	11	11
手軽に見聞きできる	30	51	66	24	74	35	64	33
世論を形成する力がある	75	70	60	10	22	15	29	15
世の中の動きを幅広くとらえている	72	59	64	18	41	28	24	14
読んだ、見た、聞いたことが記憶に残る	52	62	73	18	31	17	42	40
情報が整理されている	80	65	50	18	22	30	10	22
情報量が多い	74	45	44	15	56	23	31	22
バランスよく情報が得られる	63	62	59	19	32	26	17	11
多種多様な情報を知ることができる	68	53	61	22	65	28	49	38
分かりやすい	33	62	75	15	50	18	41	30
親しみやすい	20	38	70	24	50	12	60	36
情報が詳しい	80	59	36	7	49	26	10	9
仕事に役立つ	92	65	48	18	40	29	14	15
情報の重要度がよくわかる	81	63	52	20	21	27	14	6

物事の全体像を把握することができる	<u>73</u>	59	63	13	28	24	12	10
物事の背景がよくわかる	<u>60</u>	57	58	10	21	20	12	10
集中して見聞きする	<u>59</u>	<u>59</u>	55	22	25	16	20	17
中立・公正である	<u>53</u>	51	35	8	15	15	10	4
情報が速い	32	53	51	17	57	38	<u>59</u>	9
楽しい	15	23	64	11	53	18	<u>68</u>	56
時代を先取りしている	10	23	38	8	47	17	<u>65</u>	44

* 各項目内の数字は○をつけた人数。

* 数字に下線がついているのは、各項目で最も○をつけた人数の多かったメディア。

⑥授業で新聞記事を使っていますが、どのように感じますか。

感想	人数
知らないことを知ることができるので、勉強になった	97
別に何とも思わなかった	31
日本や世界のことなど、もっといろいろなことを知りたいと思った	13
文章が的確に書かれているし、いろいろな言葉を知ることができる	1
興味がわからない	1
特に勉強になったとも思わない	0

⑦作文を書くために、自分で新聞記事を探しましたが、どうでしたか。

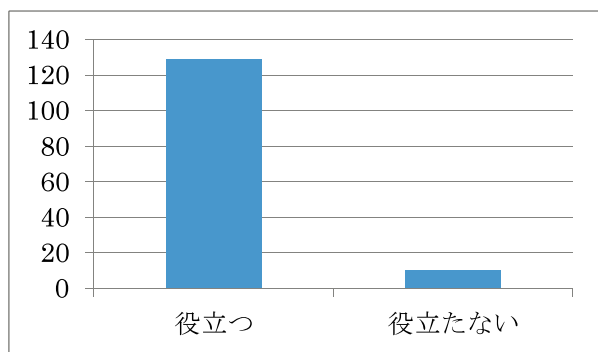
感想	人数
難しかった	51
楽しかった	36
新聞を読むのがたいへんだった	27
別に何とも思わない	22
めんどろだった	10
授業のためだと思ったから	1
楽しくなかった	0

⑧どのようなテーマの記事を選びましたか。

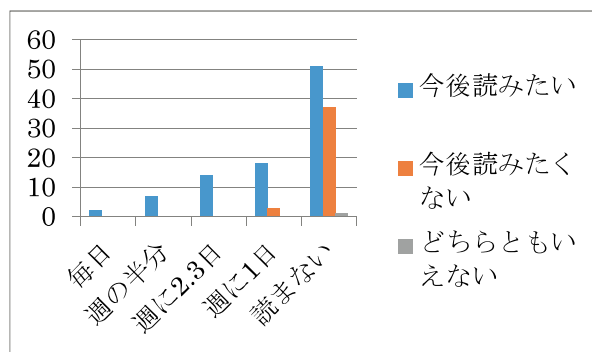
分野	人数
教育	10
医療	8
地方自治	8
スポーツ	8

地震・火山	7
国際政治	6
オリンピック	5
事件・事故	5
社会福祉	5
交通システム	4
環境	4
経済	4
生物	4
自動車	4
心理	4
育児	3
人権問題	3
労働・雇用	3
戦争	3
日本政治	2
宇宙	2
選挙	2
旅行	2
たばこ	2
薬物	2
若者	2
生活	2
貧困問題	1
市民社会	1
出版	1
金融	1
経営	1
IT	1
水産業	1
農林業	1
エネルギー	1
マンガ	1
音楽	1
建築	1
食生活	1
家族	1
趣味	1
広告	1
ペット	1
健康	1

⑨授業に新聞記事を使うことは、役に立つと思いますか。



⑫授業をきっかけに、これから新聞を読みたいと思いますか。



⑩⑨で「役に立つ」と答えた（129名）理由を教えてください。

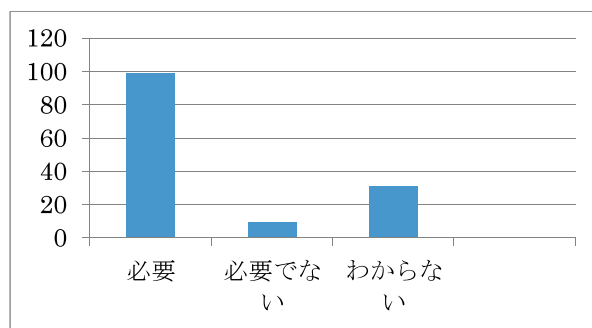
理由	人数
知らないことを知ることができるから	68
知識の一つとして役立つから	38
社会人になるためにいろいろなことを知ることは必要だから	36
常識として、新聞に載っていることは知っておきたいから	30
新聞を読むきっかけになる	1
読んで考えることができるから	1
今の社会の出来事が知れるから	1
社会についていけるから	1
全く読まない人にとって、新聞に触れる機会になるから	1

*理由が自由記述なので、回答欄に書かれたそのままの表現を用いた。⑪も同様。

⑪⑨で「役に立たない」と答えた（10名）理由を教えてください。

理由	人数
新聞に載っていることが正しいとは限らないから	7
自分にとって、特に役立つとは思わないから	2
新聞に書いてあることは難しいので、わかりにくいから	1
特に得たものはない	1

⑬新聞を読むことは今後必要だと思いますか。



⑬-1「必要」と答えた（99名）理由を教えてください。

理由	人数
情報を知ることができる	14
社会のことを知るために	12
社会人になるために必要だから	9
世の中の動きを把握できるから	8
知識の幅が広がる	8
社会を知ることはとても大切だから	4
常識力をつけるため	2
無知ではいけないと思うから	2
情報を得ることは必要なことだから	2
社会についていくため	2
文章や言葉の理解力が深まるから	2
漢字の勉強になるから	2
社会勉強になるから	1
日本や世界の流れを知るのには必要	1
経済について知るため	1
時事ネタを知る必要があると感じ始めたから	1
大人になって何も知らないと恥をかくから	1

書いた人の考えが分かるから	1
会話のタネにもなり、人とコミュニケーションをとりやすくなる	1
知識の一つとして役立つから	1
情報量が多いから	1
読みたい情報だけ読めるから	1
物事をよりくわしく知ることができるから	1
視野が広がったり、想像力も豊かになりそうだから	1
テレビでは言わない、知らないことがたくさんあるから	1
あまり読まない人に新聞に触れる機会を与えるため	1
知りたいことがあるから	1
文の手本となるから	1
今まで関心がなかったことに興味をもてるかもしれないから	1
信頼できる情報の一つだから	1
世の中の人々が注目していることがわかるから	1
「お金を払ってえられる情報には価値がある」と誰かが言っていたから	1
公平かどうかはともかく、話のネタになるし、本当の事も書かれていると思うから	1
おもしろいから	1
どんなテレビ番組があるか、知ることができるから	1

*理由は自由記述。表現に多少の違いがあっても、内容が同じであれば、同じ理由として挙げている。以下も同様。

⑬-2 「必要ではない」と答えた(9名)理由を教えてください。

理由	人数
新聞以外にも情報が得られる媒体があるから	2
読んだところで話の話題にもならないし、テレビでのニュースなどの方が話題になるから	1
必ずしも必要ではないと思う	1
新聞を信用できないから	1
テレビのニュースを見れば色々な情報を得ることができるから	1
お金が必要となるから	1
今も問題ないから	1

⑬-3 「わからない」と答えた(31名)理由を教えてください。

理由	人数
新聞でなくても情報は得られるから	5
テレビでも情報を得られるから	4
インターネットでも情報は得ることができるから	4
うそか本当かわからないから	2
わからない	2
新聞には間違った情報が記載されていることがあるので、うのみにできないから	1
文字を読むことに慣れておくことは必要だと思うが、新聞でなくてもよいと思う	1
読みたいときに読めばよい	1
なんとなく	1

4. 調査から見えてきたもの

4-1 情報の収集

①のアンケート結果から、「テレビ」から情報を得ているのは、88名で全体の32.2%、「インターネット」からは、84名で30.7%であった。「新聞」からは、13名で4.8%であり、1割にも満たなかった。6割以上が「テレビ」「インターネット」から情報を収集していることがわかった。

これらを利用する理由としては、「手軽」「身近」「便利」「簡単」「よく見る」というのが多かった。学生にとっての情報収集は、「手軽・身近・便利・簡単」というのがポイントとなるようだ。

テレビやインターネットでは、1日のニュースが短時間で簡単に知ることができるので、あえて次の日に新聞を広げなくてもよいというのであろうか。

4-2 インターネットの評価

インターネットを利用する理由については、「便利」「手軽」「身近」「楽」と答えた。

インターネットの印象・評価については、「情報源として欠かせない」「日常生活に役立

つ」「話のネタになる」「手軽に見聞きできる」「多種多様な情報を知ることができる」「分かりやすい」「親しみやすい」「情報が速い」「楽しい」「時代を先取りしている」という項目が高かった。しかし、「知的である」「安心できる」「情報が正確である」「情報の信頼性が高い」という印象・評価は低かった。

よって、インターネットに対して、分かりやすさや親しみやすさ、楽しいという印象をもちながらも、安心や正確さ、信頼性、そして、知的さについては高く評価していないことがわかった。

4-3 テレビの評価

テレビを利用する理由については、「手軽」「身近」「よく見る」「便利」と答えた。

テレビの印象・評価については、「社会に対する影響力がある」「自分の視野を広げてくれる」「世の中の動きを幅広くとらえている」「読んだ、見た、聞いたことが記憶に残る」「情報が整理されている」「バランスよく情報が得られる」「分かりやすい」「物事の背景がよくわかる」「集中して見聞きする」という項目が高かった。

しかし、NHKと民放で大きく異なる印象・評価が出た。NHKの印象・評価が高かったのは、「知的である」「安心できる」「教養を高めるのに役立つ」「情報が正確である」「情報の信頼性が高い」「情報が詳しい」「中立・公平である」の項目である。

民放の印象・評価が高かったのは、「情報源として欠かせない」「日常生活に役立つ」「話のネタになる」「手軽に見聞きできる」「親しみやすい」「楽しい」である。

この結果から、NHKは知的で教養を高めるのに役立ち、さらに、情報を得るための正確性、信頼性がある。民放は、日常生活に役立つ情報を得る、生活に密着した親しみのある媒体としてとらえている。学生にとって、民放のほうが気軽に視聴できるのがわかった。NHKと民放の位置づけをし、収集内容によって使い分けをしているととらえることができる。

4-4 新聞の評価

新聞から情報を得ているのは、わずかに13名しかいなかったが、印象・評価については、「社会に対する影響力がある」「知的である」「自分の視野を広げてくれる」「教養を高めるのに役立つ」「社会の一員としてこのメディアに触れていることは大切だ」「情報が正確である」「情報の信頼性が高い」「地域に密着している」「世論を形成する力がある」「世の中の動きを幅広くとらえている」「情報が整理されている」「情報量が多い」「バランスよく情報が得られる」「多種多様な情報を知ることができる」「情報が詳しい」「仕事に役立つ」「情報の重要度がよくわかる」「物事の全体像を把握することができる」「物事の背景がよくわかる」「集中して見聞きする」「中立・公平である」が高く、他のメディアと比べて、印象・評価の高い項目が圧倒的に多かった。

「話のネタになる」「手軽に見聞きできる」「分かりやすい」「親しみやすい」「情報が速い」「楽しい」「時代を先取りしている」という印象・評価については、低かった。

よって、テレビやインターネットにある分かりやすさや親しみやすさという印象・評価はもっていないことがわかった。しかし、33.1%の学生しか新聞を読んでおらず、さらに新聞から情報を得ているのは9%しかいないが、新聞に対する信頼度が高いことはわかった。

4-5 新聞の購読について

新聞を「毎日読んでいる」学生は2名で、1.4%であった。「まったく読んでいない」学生は93名で66.9%であった。毎日読んでいる学生が少ないことを予想はしていたが、これほどまでに少ないとは思わなかった。しかも、毎日読んでいるのは、「テレビ欄で何のテレビがあるかを確認するから」（1名）という理由にも驚いた。毎日読んでいる学生はもう1名いたのだが、理由を書いていなかったのが残念だ。

「毎日」「週の半分」「週に2・3日」読んでいる共通の理由に1名ずつではあるが、「テレビ欄を見るため」とあった。また、「週の半分」「週に2・3日」「週に1日」読んでいる共

通の理由に「気になったところを読む」とある。「まったく読んでいない」理由にも、「テレビ欄だけでいいから」(1名)「気になったものは読む」(1名)とあった。この2名は通常は読まないから、「テレビ欄を見るだけ」、「気になったところだけ読む」のは、定期的に新聞を読むことに該当しないと判断したのであろう。

「週に2・3日」「週に1日」読んでいる、「まったく読んでいない」に共通する理由に「読む時間がない」とある。読む時間がないのは、勉強が忙しいからか、アルバイトがあるからか、その他の理由なのかを詳しく知ることができなかった。

「まったく読んでいない」の理由として、「新聞をとっていないから」が31名と多かった。これらには、自宅から通っている学生も、一人暮らしの学生も含まれている。

さらに、「信用できない」「本当に大事なことは書いていない」という、新聞の信頼性が問われるような理由もあった。文字離れを象徴するような「大量の文字を読むのに時間がかかる」

「字が小さい」「漢字だらけ」という理由も気になった。これは、情報を得るという行為以前の問題である。情報を得たいという欲望よりも、「字が小さい」から読みにくい、「漢字だらけ」だから読みたくない、「読むのに時間がかかる」という、文字に対して、さらに、読み解くという行為に対する拒否反応ともとれる理由である。

4-6 新聞のイメージについて

新聞へのイメージとして、「客観的な意見が書かれている」(44名)「社会の人が知りたい情報が書かれている」(33名)「いろいろな意見が公平に書かれている」(30名)「書いてあることは正確だ」(26名)「信用できる」(16名)「事実が掘り下げて書かれている」(11名)「報道される人のプライバシーや人権に配慮している」(11名)「興味本位ではなく品位を持って書かれている」(6名)と、肯定的なイメージが66.54%であった。

反対に、「いろいろな意見が公平に書かれていない」(23名)「報道される人のプライバシー

や人権に配慮していない」(18名)「事実が誇張して書かれている」(14名)「信用できない」(9名)「事実と違うことが書かれている」(8名)「興味本位に書かれている」(5名)「社会の人が知りたい情報が書かれていない」(4名)「同じ記事ばかり載せている」(1名)「読むと気分が暗くなる」(1名)「つまらない」(1名)「新聞を売るために大げさに書くことがある」(1名)「読みづらい」(1名)と、否定的なイメージは32.33%であった。

さらに、「事実も書かれているし、事実でないことも書かれている」(1名)「考えたことがない」(1名)「読んでないのでわからない」(1名)と、肯定的でも否定的でもないイメージが1.13%であった。

否定的なイメージよりも肯定的なイメージの方が約34%も多い。約67%が「まったく読んでいない」にもかかわらず、新聞に対して肯定的なイメージをもつ学生が多いことがわかった。

4-7 新聞を授業で使用することについて

授業で新聞記事を使うことについて、67.8%が「知らないことを知ることができるので、勉強になった」(97名)と答えた。しかし、「別に何とも思わなかった」(31名)「興味がわからない」(1名)という感想をもったのは、22.4%であった。

「日本や世界のことなど、もっといろいろなことを知りたいと思った」(13名)のは9%、自分で新聞記事を探すことが「楽しかった」(36名)と感じたのは24.5%であり、もっと知りたい、楽しかったということは、学生に学習意欲がでてきたととらえてよいであろう。

学生に自分自身で記事を選び、その記事に対して意見を書いてもらった。学生の選んだ分野は、45分野もあり、その中でも「教育」「医療」「地方自治」「スポーツ」「地震・火山」が多かったが、学生たちの関心が多岐にわたっていることがわかった。

しかし、自分で新聞記事を探すのは「難しかった」(51名)は34.7%、「たいへんだ」(27名)は18.7%と、普段新聞を読み慣れていないので、新聞を読んで興味ある記事を探す

いう作業は時間もかかり、選ぶというのが難しかったようである。

授業で新聞を使うことは「役立つ」と答えたのは129名で92.8%、「授業をきっかけに今後新聞を読みたい」と答えたのは、92名で69.2%であった。その中でも、現在新聞を「毎日」「週の半分」「週に2・3日」読んでいる25名の全員が「今後新聞を読みたい」と答えた。「役立つ」と答えたのは10名で7.2%、「今後も新聞を読みたくない」と答えたのは、40名で30.1%であった。「今後も読みたくない」と答えた40名のうち37名は、現在新聞を「まったく読んでいない」と答えた学生である。現在「まったく読んでいない」学生は、今後も「読みたくない」という意志が強いとうかがえる。

4-8 今後について

今後新聞を読むことは「必要」と答えたのは、99名で71.2%、「必要でない」は9名で6.5%、「わからない」は31名で22.3%であった。

「必要」と答えた理由として、「情報を知ることができる」(14名)、「社会のことを知るために」(12名)、「社会人になるために必要だから」(9名)、「世の中の動きを把握できるから」(8名)という将来に向けて必要なことだととらえている。また、「文章や言葉の理解力が深まるから」(2名)、「視野が広がったり、想像力も豊かになりそうだから」(1名)、「書いた人の考えがわかるから」(1名)という理由もあり、情報を得るというだけでなく、思考力・理解力も養える媒体であるにとらえている。

「必要でない」理由に「今も問題ないから」(1名)とあった。これを答えた学生は、新聞を現在「まったく読んでいない」、「今後も読みたくない」、そして、「新聞にはいろいろな意見が公平に書かれている」というイメージをもってはいるが、新聞記事を授業で使うことについては、「興味がわからない」、「特に役立つとは思わない」、「特に得たものはない」と答え、新聞の必要性を感じていないことがわかった。

しかし、約7割の学生が将来を見据えて、新聞で情報を得ること、さらに、情報収集という行為のみならず、漢字を知ること、理解力、思

考力も養うことができるととらえていることから、必要性を感じていることがわかった。

5、おわりに

今回のアンケート調査を踏まえて、学生は手軽さ、速さ、便利さ、分かりやすさを求めてインターネットやテレビから情報を採取していることがわかった。今は、「時間がないから」「新聞をとっていない」などという理由から、こまめに新聞を読んでいる学生は少ない。しかし、新聞への信頼度や必要性は強く感じており、将来的には購読したいと思っている。将来的には読みたいと思いつつも、現在は個人的には読まない学生に新聞を読ませるには、授業で使うのがよい。

「学生の興味や関心は信頼性の高い資料に数多く触れることで学問的関心に高めることができる。自分や他者の興味関心がアカデミックな研究の対象になることを知ることは、学生の視野を広げ、学習への意欲を向上させる」⁵⁾ことにつながる。授業の中で、新聞記事を自分で探すことが「楽しかった」と感じたのは約25%、約68%が「勉強になった」と思ったことは、学生の学習意欲をかきたてることにつながったと推測できる。

よって、授業で新聞を使うことは、多種の分野を知ることにより視野を広げることができる。「知る」ことの喜びを味わい、そこで湧き出た「知りたい」という気持ちから、調べることのたいへんさ、喜びを学生たちが味わうことができたと考える。新聞に対して、肯定的なイメージをもつ学生は約67%もいるのに、新聞を読んでいるのは、新聞に触れる機会がなかったからかもしれない。その手がかりを授業でつくり、学生に記事を読むこと、多岐にわたる分野に触れることについての重要性を見出せるよう、学生にとって有用な活用方法を検討していきたい。

引用文献

- 1) 総務省「世代別インターネット利用率」「情報通信白書」H 26年版 2014年

- 2) 日本新聞協会「メディア別接触頻度」の15～19才（本稿は大学1年生を対象に調査したので、15～19才のデータを使用した）「2013年 全国メディア接触・評価調査報告書」2014年 p. 34
- 3) 木村邦彦（2006）「深刻化する新聞・テレビへの信頼度低下—インターネットに頼る学生—」岡山理科大学紀要 第42号B p. 57
- 4) 日本新聞協会「各メディアの印象・評価」 「2013年 全国メディア接触・評価調査報告書」2014年 p. 40
- 5) 橋本信子（2014）「学生の知的好奇心を引き出す授業実践—大阪商業大学における『おすすめ』を紹介するプログラム—」大阪商業大学論集 第10巻 第2号（通号174号） p. 26

参考文献

- 1) 柏崎秀子（2013）「新聞活用教育（NIE）の力を育成する大学の教員養成課程での授業実践」実践女子大学文学部紀要 第55号 pp. 56-65
- 2) 木村邦彦（2006）「深刻化する新聞・テレビへの信頼度低下—インターネットに頼る学生—」岡山理科大学紀要 第42号B pp. 51-59
- 3) 楠本町子（2012）「新聞を活用したメディア・リテラシー教育」『学び舎—教職課程研究』第7号 愛知淑徳大学教育学会 pp. 14-24
- 4) 園屋高志（2005）「大学生に対する情報教育の実践～新聞の特性を考察させる授業について～」鹿児島大学教育学部実践研究紀要 第15巻 pp. 197-203
- 5) 富塚秀樹（2002）「NIE（教育に新聞を）の課題と展望—特に公民科教育の視点をおいて—」京都精華大学紀要 第22号 pp. 146-154
- 6) 日本リメディアル教育学会（2012）『大学における学習支援への挑戦—リメディアル教育の現状と課題』ナカニシヤ出版
- 7) 橋本信子（2014）「学生の知的好奇心を引き出す授業実践—大阪商業大学における『おすすめ』を紹介するプログラム—」大阪商業大学論集 第10巻 第2号（通号174号） pp. 15-28
- 8) 山田礼子（2012）『学士課程教育の質保証へむけて—学生調査と初年次教育からみえてきたもの』東信堂